学校番号	T0106

平成 31 年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	新編数学Ｂ（第一学習社）						
副教材等	教科書の内容に関連した別教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年次までで学習した内容を確認し，それを基に数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深めます。第１回授業時にファイルを配布します。授業プリントや問題プリントを整理し，各自復習等に用いましょう。授業プリントで学習した内容を問題プリントで確認し、知識の定着を図ります。問題プリントは実施ごとに回収し，評価の対象とします。毎回しっかりと取り組みましょう。授業への取り組み状況も評価の対象となります。遅刻や欠課をせずに，しっかりと出席しましょう。

2　学習の到達目標

「数列」の分野における基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、授業を通して、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるよう、またそれらを活用するようにがんばりましょう。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通じて、数列における考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に進んで活用しようとする。	数学的活動を通して数列における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り、発展的に考えることができる。	数列において、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決することができる。	数列における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。
評価方法	提出物、授業態度、出席状況等	提出物、授業態度、定期考査	提出物、授業態度、定期考査	提出物、授業態度、定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	数列	数列と一般項	○				a：数を順に一列に並べたものという素朴な形で数列を捉えるとともに、それらの間にある規則性について考察しようとする。 b：数列の各項から規則性を見つけ、第ｎ項を求めることに気付く。 c：等差数列や等比数列の一般項と第ｎ項を求めることができる。また、Σの記号に習熟することで、いろいろな数列を表現し処理する方法を見つけることができる。 d：数列における基本的な概念、原理、法則、用語、記号などを理解している。	出席状況、授業態度、問題プリント定期考査
		等差数列		○		○		
		等差数列の和		○		○		
		等比数列	○	○				
		等比数列の和			○	○		
後期	数列	自然数の2乗の和	○	○		○	a：いろいろな数列の規則性に関心をもち，それを一般項や和を求める考察に活用しようとする。 b：いろいろな数列の規則を見つけ，一般項やその和を考えることができる。 c：いろいろな数列の規則性を利用して，一般項やその和を求めることができる。 d：いろいろな数列について，その規則性を見つけ，理解することができる。	出席状況、授業態度、問題プリント定期考査
		和の記号とΣとその性質			○	○		
		階差数列	○	○				
		いろいろな数列	○		○	○		
		漸化式	○			○		
		数学的帰納法	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
　　c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。